シラバス参照

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT3506		
科目名	災害史		
担当教員	中森　広道		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火４		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 E1（60%）：学識と専門技能 I1（30%）：理解・分析と読解 F1（10%）：探求と根拠		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット ３．発展期　～　４．定着期		
科目概要・キーワード	②授業概要 日本を中心に世界で発生した様々な災害の歴史を学ぶ。地震や津波，火山活動，台風，洪水などによる自然災害、大規模事故などの人為的災害の事例を挙げながら,これらの歴史を考察する。災害が発生してどのような被害が発生したか，そこで人々は何をしたのか、どんな問題が起きたのか、情報やメディアは機能していたのか、その後どのようなことが行われたのか，などについて過去の事例から，現代の課題を発見し，未来の災害対策に活かすことを目的とする。授業形態は原則はオンライン授業で行い、開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。新型コロナウイルス感染の状況によっては、対面授業を行うこともあります。 （キーワード） 災害　歴史　地震　津波　風水害　火山		
授業の趣旨	■副題 災害の歴史を学び教訓を活かしましょう ■授業の目的 災害の歴史を国内外の事例を基に解説をします。その事例から、災害対応の知識や問題点を学び、その知を危機管理の現場で活かせることができるようになることを目的としています。 ■授業のポイント 災害の歴史を概観する。災害・大規模事故の対策や危機管理を学ぶ上で必要な、これまでの主な災害と、その災害への対応、その災害の問題などについての知識を得ることを目指しています。		
総合到達目標	単に危機管理について専門的に学ぶのではなく、これまでの災害の大まかな歴史についての知識を得ることで、奥行きのある学習や研究をすることの基本を身につけ、学識・専門技能や探究力、問題解決力を養う。 ・災害の歴史についての概説ができる。 ・過去の災害から共通項と差異を説明できる。 ・過去の災害対応を現在の災害対応に適応させて解決策を提示できる。 ・過去の災害から現在の災害対応の問題点を提示できる。		
成績評価方法	■授業内試験（80%：1回～2回）　適応ルーブリック：E1、F1、I１ （評価の観点）授業内で話した内容について理解しているのかどうか、はかるために実施されます。		

	（フィードバックの方法）方法は授業内で伝えます。 リアクションペーパー（20%：1回～5回）適応ルーブリック：E1、F1、I 1 （評価の観点）授業で学んだ、重要な定義や事例について理解しているのかどうかを、はかるために実施されます。 （フィードバックの方法）方法は授業内で伝えます。
履修条件	特にありません。
履修上の注意点	特にありません。
授業内容	

回	内容
1	以下の授業内容は予定です。状況によっては順番の入れ替えや内容の変更もあります。 ①授業のテーマ 災害史概説 ②授業概要 災害史の概要を学び、それらの流れが説明できるようになる(E1)。 ③予習（120分） 日本史の年表を読んでおく。 ④復習（120分） 伊藤和明『地震と噴火の日本史』など災害の歴史についての資料を読む。
2	①授業のテーマ 明治時代以前の主な災害 ②授業概要 いくつかの明治時代以前に起きた主な災害を学び、それぞれの特性などをついて説明できるようになる（E1）。 ③予習（120分） 災害の歴史に関する資料・文献を探す。 ④復習（120分） 伊藤和明『地震と噴火の日本史』など災害の歴史についての資料を読む。
3	①授業のテーマ 明治以降の津波災害 ②授業概要 明治三陸地震津波など、明治・大正時代に起きた主な津波災害について学び（E1）、それらの災害から生じた問題点が説明できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 日本史の年表や近現代史の資料を読み、時代の世相を理解する。 ④復習（120分） 災害の歴史についての資料を読む
4	①授業のテーマ 昭和（戦前）の津波災害 ②授業概要 昭和8(1933)年の昭和三陸地震津波をもとに、この時代の津波被害とその後の津波情報について学び（E1）、津波への対策について理解できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 昭和史に関する資料を読む。 ④復習（120分） 吉村昭『三陸海岸大津波』など、津波に関する書籍を読む。
5	①授業のテーマ 昭和（戦後）の津波災害 ②授業概要 全国を対象とした津波警報の組織化から、昭和35（1960）年の「チリ地震津波」までを学び（E1）、津波警報と対策について説明きるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 昭和史についての資料を読む。 ④復習（120分） 廣井脩編『災害情報と社会心理』などの災害情報に関する文献や当時の新聞の縮刷版や報道資料を読む。
6	①授業テーマ 昭和（昭和50年代）の津波災害 ②授業概要 昭和58（1983）年の「日本海中部地震」について学び（E1）、津波警報の改善について説明できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 廣井脩編『災害情報と社会心理』などの災害情報に関する文献や昭和史についての資料を読む。 ④復習（120分） 当時の新聞の縮刷版や報道資料を読む。
7	①授業テーマ 平成の津波災害(1)

	②授業概要 　平成5(1993)年の「北海道南西沖地震」について学び（E1）、津波警報と対策の展開を説明できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 　廣井脩編『災害情報と社会心理』などの災害情報に関する文献や当時の新聞の縮刷版や報道資料読む。 ④復習（120分） 　東京大学大学院情報学環・廣井アーカイブス（ホームページ）の報告書などを読み、まとめる。
8	①授業のテーマ 平成の津波災害(2) 　東日本大震災 ②授業概要 　平成23（2011）年の東日本大震災について、津波災害の歴史を踏まえながら学び（E1）、津波災害の特性と問題点について説明できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 　「東日本大震災」について当時のことを思い出し、課題を考えておく。 ④復習（120分） 　当時の新聞の縮刷版や報道資料を読む。「東日本大震災」に関する書籍・文献を読む。
9	①授業のテーマ 　日本の風水害（1） ②授業概要 　昭和9(1934)年の「室戸台風」など昭和（戦前・戦中）の風水害について学び（E1）、当時の風水害に関する問題点を説明できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 　廣井脩編『災害情報と社会心理』などの災害情報に関する文献や昭和史についての資料を読む。 ④復習（120分） 　田中淳・吉井博明編『災害情報論入門』などの近年刊行された災害情報に関する文献を読む。
10	①授業のテーマ 　昭和の風水害（2） ②授業概要 　昭和34（1959）年の「伊勢湾台風」以降の風水害について学び（E1）、風水害の問題と情報の展開について説明できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 　廣井脩編『災害情報と社会心理』などの災害情報に関する文献や昭和史についての資料を読む。 ④復習（120分） 　田中淳・吉井博明編『災害情報論入門』などの近年刊行された災害情報に関する文献を読む。
11	①授業のテーマ 　日本の歴史的な地震災害 ②授業概要 　大正12（1923）年の「関東大震災」をはじめ、日本の近現代の主な地震災害について学び（E1）、地震災害の特性について説明できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 　近現代史の資料を読む。当時の新聞縮刷版を読んでおく。 ③復習（120分） 　田中淳・吉井博明編『災害情報論入門』などの近年刊行された災害情報に関する文献を読む。
12	①授業のテーマ 　昭和から平成へ（1）火山災害 ②授業概要 　昭和61（1986）年の伊豆大島噴火、平成3（1991）年の雲仙岳噴火など、昭和の終わりからから平成のはじめに起こった火山災害について学び（E1）、火山災害と避難について説明できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 　当時の新聞縮刷版を読んでおく。 ④復習（120分） 　東京大学大学院情報学環・廣井アーカイブス（ホームページ）の報告書などを読み、まとめる。
13	①授業テーマ 　昭和から平成へ（2）阪神・淡路大震災 ②授業概要 　平成7（1995）年の阪神・淡路大震災について学び（E1）、災害時に顕在化した問題について説明できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 　当時の新聞縮刷版を読んでおく。 ④復習（120分） 　東京大学大学院情報学環・廣井アーカイブス（ホームページ）の報告書などを読み、まとめる。
14	①授業テーマ 平成から令和へ ②授業概要

		近年の災害についてまとめ（E1）、日本の主な災害の特性について説明できるようになる（F1、I1）。 ③予習（120分） 日本史（特に現代史）についての書籍や年表を読んでおく ④復習（120分） 新聞の縮刷版などから、授業内で扱った報道の報道を見直す。
	15	①授業のテーマ まとめ ②授業概要 授業のまとめと試験を行う。「災害史」の教訓や知見から、これからの災害対策の課題を説明できるようにする（F1、I1） ③予習（120分） これまでの授業内容をまとめておく。 ④復習（120分） 「災害史」に関する文献をあらためて読み、今後の災害にどのように向き合っていくのかを考える。
関連科目	災害対策論（RMGT3501）、災害情報論（RMGT3502）、自然災害論（RMGT3503）	
教科書	使用しません。	
参考書・参考ＵＲＬ	授業中に指示します。	
連絡先・オフィスアワー	授業中に指示します。	
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント100%　パブリックセキュリティ10%　グローバルセキュリティ10%　情報セキュリティ10% ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学90%　法学10%	

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.